労働組合統一同盟宣言

我労働組合統一同盟は、昨年来創立準備大会を挙行し、正に一有年を経過した。我同盟創立の当初に、次の如き三つの中心的綱領の下に結束したものである。

一、労働農民党の支持。

二、労農総評合の即時実現。

三、労農総評合の即時実現。

だが、その後の我統一同盟が積極的に支持し、参加したるストライキ式の共同闘争、二代議運動、労働者に加へられたる暴圧反対、工場事業の現実の闘争の経験は、我同盟の主要綱領を次第に対する統一的闘争と、そのための労働組合の全国的統一に集中すべきことを教へた。我同盟は、常に現実闘争の経験を吸収し、絶えず自己批判を続け、戦術的修正を重ね、我国労働組合の全国的統一のために最も活動的に闘争を来たしつつあるこの。

労働組合の全国的統一は、今や、単なる標語ではない。個々の組合幹部の意見によると左右に乖離すべき問題ではない。過去一年間、特に今春の金融恐慌以来の事実を見よ。工場代表者会議による闘争に、或は共同闘争委員会による闘争に、右翼、中間派、左翼の各組合代表は参加し闘ってゐるではないか。大衆が、かゝる闘争に参加するのは、左翼の政治的意見と、組合運動の根本方針に明確な一致を見たためであらうか。

否！。現実に対する現実の闘争が、必然に組織力の共同、集中、統一の必要を一般大衆に自覚せしめたる結果に外ならぬ。かゝる事実の進行は、何人と雖も阻止し得べきものではなく、又一一一一一一一一実の進行を促進し発展せしめて一致、初めて真の労働組合統一が実現されるのである。

労働階級の生活を擁護しその利益を代表して、資本と闘争する拡散なる大衆的闘争組織である労働組合の戦線統一を、政治的意見、個人の相違を理由に、統一の不可能を説き、或は分裂対立の現状をそのまゝ、理屈づけ肯定する者、又は口に統一を説くと事実に分裂を行つてゐる者は、然で明かに、労働組合統一の敵である。現実の労働者の闘争を見ない、盲目者である。

かゝる誤れる見解又は事実は、我国現在の労働組合の殆んど全般に拡がつてゐる。例へば総同盟一部の指導者が言ふ「反共産主義的」右翼聯盟、又は中間派一部の指導者が言ふ「左右両翼を切り離したる中間派聯盟」の如き、又は我同盟の一部にも従来言はれたる大衆組織たる労働組合の分裂対立を公認化せんとする見解の如きである。然し乍ら我同盟こそ、かゝる誤れる見解又は事実を、実際的に克服するために同盟全体として強力努力し来つたものである。例へば本年旬月十八日に開催された拡大全国委員会は、我同盟が党内に対する統一闘争の遂行と、又各の労働組合戦線統一の任務とを明かにし、我同盟創立当初の中心綱領の一つたる「労働農民政党」支持」を綱領から除き、「政党加入の自由」を新らたに掲げた。又一部の右翼及中間派の闘争者の反対妨害にも拘らず、統一運動の条件であり、現実的基礎である、大衆との共同闘争を最高に発展せしめた。

本大会はかゝる闘争経験の意義を明確にする公要を認める。従て労働組合の統一は、政治的意見の相異を別にして、大衆の日常闘争の場面に於て促進され実現されるもので、政党と組合とは別個の組織であることを明確にしなければならぬ。現在の各労働組合が何れの政党を支持しようとも、その事を以て労働組合の統一を阻止し、妨害すべきではない。

此処に本大会は、本同盟本来の任務である資本に対する統一的闘争の遂行と、その為の労働組合全国的統一の為に、新らしく、「政党の対立と離れて組合の統一」を強調し、大衆に訴へ、